

① 毎日新聞

アスベスト訴訟  
会社側争う姿勢

地裁横須賀支部

横須賀市内にあった日立田浦工場勤務中にアスベストを吸い中皮腫になったとして、元従業員小山春生さん(78)が日立パワーソリューションズに約2500万円の損害賠償を求めた訴訟の第1回口頭弁論が24日、横浜地裁横須賀支部であった。会社側は答弁書で争う姿勢を示した。

訴状によると、小山さんは1961年9月から99年3月まで、日立田浦工場で溶接作業に従事し、溶接部分にアスベストを巻くなどの作業をしていた。退職後の2015年12月、悪性胸膜中皮腫を発症。翌年11月、横須賀労働基準監督署で労

災認定を受けた。濃密なアスベスト粉じんにさらされる状況で作業をさせたのは、会社側の安全配慮義務違反だと主張している。

【岩崎信通】

② 東京新聞

「石綿作業で中皮腫」  
会社側は争う姿勢

損害訴訟で口頭弁論

勤務していた工場での作業中にアスベスト(石綿)

にさらされ、悪性中皮腫を発症したのは安全配慮義務違反として、横須賀市の小山春生さん(78)が日立パワーソリューションズ(本社・茨城県日立市)に二千五百万円の損害賠償を求めて横浜地裁横須賀支部に提訴し、二十四日に第一回口頭弁論が開かれた。同社は請求棄却を求め、争う姿勢を示した。

訴状などによると、小山さんは一九六一年、同社の前身の日立田浦工場(横須賀市)に入社。発電機の一部品製造に従事し、溶接部に石綿を巻くなどの作業をした。退職後の二〇一五年十二月に中皮腫を発症し、一六年に労災認定された。一七年五月から同社と補償などについて交渉したが、進展がないとして今年

十月に提訴していた。口頭弁論で意見陳述した小山さんは「これからも同僚らから石綿被害が出る可能性がある。命あるうちに会社は救う道を構築してほしい」と訴えた。

③ 神奈川新聞

日立の石綿被害  
会社側争う姿勢

地裁支部で初弁論

アスベスト(石綿)を作業現場で吸い込んだことで中皮腫を発症したとして、横須賀市の小山春生さん(78)が日立パワーソリューションズ(茨城県日立市)に約2500万円の損害賠償などを求めた裁判の第1回口頭弁論が24日、横浜地裁横須賀支部で開かれた。会社側は請求を棄却するよ

- ①2019. 12. 25 (水) 毎日新聞 神奈川版
- ②2019. 12. 25 (水) 東京新聞 横浜神奈川版
- ③2019. 12. 25 (水) 神奈川新聞 社会面
- ④2019. 12. 4 (水) 読売新聞 横須賀版

う求める答弁書を出し、争う姿勢を示した。訴状などによると、小山さんは1961年9月、当時の日立田浦工場(横須賀市)に入社し、アスベスト製品を用いた溶接や解体作業に従事。退職後の2015年12月に中皮腫を発症し、翌16年11月には同工場での作業が原因として労災認定された。17年からは日立パワーソリューションズと交渉を重ねたものの合意に至らなかった。小山さんは意見陳述で、手術や抗がん剤による治療を経て、今も定期的に通院していることを明かし、「会社は当事者意識がゼロ。世界的企業グループが人の命をないがしろにして平気だとは思いたくない」などと訴えた。

3日に記者会見した小山さんは「呼吸が苦しく、体力も衰えた。人の命をもてあそばよくな時間稼ぎは許せない」と主張した。日立パワーソリューションズは「元従業員が労災認定を受けられたのは承知している。対応は検討中で、コメントは差し控えたい」としている。

④ 読売新聞

石綿労災認定者  
元勤務先を提訴

安全配慮義務違反で

中皮腫を発症したのは、以前勤務していた横須賀市の日立田浦工場。現日立パワーソリューションズ(本社・茨城県日立市)の安全配慮義務違反が原因として、横須賀市の小山春生さん(78)は3日、同社を相手取り2500万円の損害賠償を求めて横浜地裁横須賀支部に提訴したと発表した。提訴は10月25日付。